

米国フロリダ州 オレンジ出荷予測は前年比36%減

[FreshPlaza 2025年5月14日](#)

米国農務省(USDA)は、2024-25年度のフロリダ州の全オレンジの出荷量予測を発表した。それによると、出荷量は合計1,163万箱と推定されており、前回の予測からは1%未満の微増となったが、昨シーズンの最終出荷量からは36%の減少となっている。出荷予測は、バレンシア種以外のオレンジ(早生、中生及びネーブル種)458万箱とバレンシア種のオレンジ705万箱に区分されている。

バレンシア種以外のオレンジの予測は458万箱とわずかに下方修正された。ネーブルオレンジはバレンシア種以外の総出荷量の約2%に当たる10万箱を占めている。一方、バレンシア種のオレンジの予測出荷量は705万箱とわずかに上方修正された。2025年4月28日から29日にかけて実施された現地実測調査によると、バレンシア種の樹列の約99%が収穫されていた。この修正は、加工業者が4月30日に実施した既に加工した果実とこれから加工する予定の果実の数量を評価した調査によって裏付けられている。

グレープフルーツについては、USDAの予測は130万箱で変わらず、白肉種が14万箱、赤肉種が116万箱となっている。グレープフルーツの収穫は完了したと報告されている。レモンの予測は60万箱で変わらず、すべての認定品種を網羅したタンジェリンとマンダリンの予測も40万箱の据え置きである。

USDAのレポートには、「二乗平均平方根誤差」(RMSE)と呼ばれる予測信頼性の尺度も含まれている。5月のフロリダ州の全オレンジの出荷量予測では、この指標は2.2%(ハリケーンに襲われた4回の異常なシーズンを除外すると2.3%)であり、最終的な出荷量と予測の誤差が3回に2回はこの指標を超えないことを意味している。過去20年間で、実績が最終予測を下回ったのは13回、上回ったのは7回であった。

レポート全文は[こちら](#)。(訳注: レポートの中の統計表の翻訳を次ページに掲載しています。)

(関連記事)米国フロリダ州 柑橘類再活性化への希望

[FreshPlaza 2025年5月13日](#)

米国農務省(USDA)は、2024-25年度の(フロリダ州の)出荷量を、オレンジ1,163万箱、グレープフルーツ130万箱、タンジェリン及びタンジェロ40万箱とする2025年5月の柑橘類改訂出荷予測を発表した。

予測では、オレンジが3万箱上方修正されているが、グレープフルーツ、タンジェリン及びタンジェロの予測出荷量は、4月の出荷予測から変わっていない。先月の出荷予測では、オレンジが1,160万箱、グレープフルーツが130万箱、タンジェリン及びタンジェロが40万箱とされていた。

フロリダ州柑橘類協会(FCM)の執行副会長兼CEOであるマット・ジョイナー氏は、「フロリダ州の柑橘類生産者達からは、カンキツグリーンング病と戦い、ハリケーンの被害から回復するための対応策のおかげで、果樹が次第に健全になっているという話を日々耳にする。今月の上向きの勢いは、何世代にもわたって業界を支えてきた家族経営を維持し、作物を市場に出荷するための生産者達の絶え間ない努力を反映している。アルブリットン州上院議長のビジョンと、研究と改植の取り組みを進めるために議会から前例のない資金提供を得られる見込みのおかげで、フロリダ州の代表的作物の活性化に向けた希望が見られる」と述べた。

アルブリットン州上院議長は3月26日、2025-26年度の州財政予算でフロリダ州の柑橘類産業に2億ドルを割り当て、そのうち1億9千万ドルを樹園地の管理を支援するための野外試験、治療ツール、新植、既存の果樹のリハビリに充てる提案を発表した。1億9千万ドルのうち、少なくとも1億2,500万ドルは苗木の取得と植栽を支援する。さらに、この提案には、柑橘類梱包業者が機器の改修、新技術の採用、または新しい機器の購入を行う際に、フロリダ州農業消費者サービス局(FDACS)が資金の80%を提供するための1千万ドルが含まれている。

フロリダ州の上院と下院は、州の柑橘類産業に対して異なる予算配分案を提出している。両院は、7月1日に発効する州の2025-26会計年度の予算を承認するための交渉を行っている。その結果により、研究、果

樹園の管理、改植など、柑橘類関係の取組みのための資金が決定される。

合衆国上院のアシュリー・ムーディ議員は4月22日、「国産オレンジ果汁製造保護法案」の上院への提出を
発表した。この法案は、フロリダ州産オレンジ果汁の品質、味、栄養に影響を与えることなく国内供給を強化
するため、オレンジ果汁の標準的な基準を可溶性固形分の重量比(ブックス)10.5%から10%に改定するこ
とを提案している。

この法案が可決されれば、国内産オレンジをより柔軟に活用できるようになり、米国における外国産柑橘類
への輸入依存を減らし、業界に利益をもたらす可能性がある。

生産者がカンキツグリーンング病 - ミカンキジラミによって引き起こされ、2005年以来フロリダ州の商業的
果樹園に影響を与えている - と戦い続けている中、この法案は非常に重要である。

(関連記事)米国 柑橘類出荷予測 5月

[米国農務省農業統計局 2025年5月12日](#)

フロリダ州農業消費者サービス局との共同発表

柑橘類の品目別出荷量及び予測出荷量 - 州別及び米国計

品目及び州	出荷量 ¹		2024-2025 予測出荷量 ¹	
	2022-2023 (1,000 箱)	2023-2024 (1,000 箱)	4 月予測 (1,000 箱)	5 月予測 (1,000 箱)
バレンシア種以外のオレンジ²				
フロリダ州	6,150	6,760	4,600	4,580
カリフォルニア州 ³	36,000	38,300	40,000	40,000
テキサス州 ³	570	690	530	530
米国計	42,720	45,750	45,130	45,110
バレンシア種のオレンジ				
フロリダ州	9,670	11,300	7,000	7,050
カリフォルニア州 ³	8,600	7,100	7,500	7,500
テキサス州 ³	560	490	350	350
米国計	18,830	18,890	14,850	14,900
オレンジ合計				
フロリダ州	15,820	18,060	11,600	11,630
カリフォルニア州 ³	44,600	45,400	47,500	47,500
テキサス州 ³	1,130	1,180	880	880
米国計	61,550	64,640	59,980	60,010
グレープフルーツ				
フロリダ州合計	1,810	1,790	1,300	1,300
赤肉系	1,560	1,550	1,160	1,160
白肉系	250	240	140	140
カリフォルニア州 ³	4,500	3,900	4,300	4,300
テキサス州 ³	2,250	2,400	2,300	2,300
米国計	8,560	8,090	7,900	7,900
レモン³				
フロリダ州 ⁴	(NA)	(NA)	600	600
アリゾナ州	1,400	950	950	950
カリフォルニア州	25,800	24,500	27,000	27,000
米国計	27,200	25,450	28,550	28,550
タンジェリン及びマンダリン⁵				
フロリダ州	480	450	400	400
カリフォルニア州 ³	23,500	27,200	26,000	26,000
米国計	23,980	27,650	26,400	26,400

¹ 1箱当たりの正味重量(ポンド) オレンジ: カリフォルニア州 80、フロリダ州 90、テキサス州 85。グレープフルーツ: カリフォルニア州及びテキサス州 80、フロリダ州 85。レモン: アリゾナ州及びカリフォルニア州 80、フロリダ州 90。タンジェリン及びマンダリン: カリフォルニア州 80、フロリダ州 95。

² カリフォルニア州ではネーブル種及びその他の品種。フロリダ州及びテキサス州では早生品種(ネーブル種を含む)及び中生品種。

³ 当月の推計値は以前の予測値を繰り越し。

⁴ 2024-25 年度産から推計を実施。(NA)はデータなし。

⁵ タンジェロ及びタンゴールを含む。